非破壊試験によるコンクリート構造物の配筋状態及びかぶり測定

測定データ記入要領
目次

1 調査票のシート構成........................................................................................................................................1
2 「①共通記入」シート ..................................................................................................................................1
3 「②測定データ（橋梁上部・下部）」シート .................................................................................................2
  3-1 測定箇所略図 ........................................................................................................................................2
  3-2 測定箇所、測定手法、測定時の材齢 ......................................................................................................3
  3-3 設計値、合否判定許容値 ......................................................................................................................4
  3-4 測定値 ................................................................................................................................................5
4 「③測定データ（ボックスカルバート）」シート .........................................................................................6
5 記入例 ..................................................................................................................................................7
  5-1 「①共通記入」シート ..........................................................................................................................7
  5-2 「②測定データ（橋梁上部・下部）」シート ..........................................................................................8
  5-3 「③測定データ（ボックスカルバート）」シート .................................................................................10
1 調査票の構成

本調査票は、以下のシートで構成されています。
当該工事の工種に従い、該当するシートへ入力してください。
当該工事に複数の工種が含まれる場合は、該当するシートの全てを入力してください。

<table>
<thead>
<tr>
<th>シート名</th>
<th>工 種</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>①共通記入</td>
<td>橋梁上部工</td>
</tr>
<tr>
<td>②測定データ（橋梁上部・下部）</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>③測定データ（ボックスカルバート）</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

2 「①共通記入」シート

当該工事の地方整備局等名、事務所名および工事名を入力してください。
本シートは、別添のアンケート調査との整合を図りますので、必ず入力してください。
3 「②測定データ（橋梁上部・下部）」シート

3-1 測定箇所略図

測定箇所を明示した正面図・断面図の略図（施工図などの活用も可）を貼り付け、断面 No.（赤字）と箇所 No.（青字）を略図に明記してください。

略図内の断面 No.（赤字）と箇所 No.（青字）は、下表の測定データ入力との整合を図ってください。
3-2 測定箇所、測定手法、測定時の材齢

各測定箇所における測定対象、測定断面、測定手法、コンクリート打設日および試験実施日を入力（選択）してください。
測定時の材齢（日）は、自動算出されます。
なお、測定断面で「その他」を選択した場合は、具体内容（具体的な断面名称）を入力してください。
3-3 設計値、合否判定許容値

各測定箇所における設計値（鉄筋径、鉄筋間隔、かぶり）を入力（選択）してください。入力が終了すると、合格判定許容値が自動算出されます。

最小かぶりについては、コンクリート標準示方書（構造性能照査編 9.2）を参照し、入力してください。

鉄筋間隔・かぶりにおける X 方向（主鉄筋）・Y 方向（配力筋）については、下図を参照してください。
3-4 測定値

鉄筋間隔の測定値は、各走査線から得られる走査線毎の平均値をさらに平均とした数値を入力してください。
かぶりの測定値は、各走査線から得られたかぶり値を配列し、走査線と鉛直方向のデータの平均値をかぶりの測定値として入力してください。
また、かぶりの概略値（\( \ell' \)）についても、各測線から得られる値を平均して入力してください。
鉄筋間隔・かぶりにおけるX方向（主鉄筋）・Y方向（配力筋）については、下図を参照してください。

かぶり測定時の分類については、『非破壊試験によるコンクリート構造中の配筋状態及びかぶり測定要領』のP.3 図1 鉄筋探査の流れでの再調査の場合に「再調査」を選択してください。

鉄筋間隔・かぶりとも、測定データを入力すると合格判定許容値に対する合否判定が表示されますので、測定データの合否判定に関連いないか確認してください。
測定箇所を明示した正面図・断面図の略図（施工図などの活用も可）を貼り付け、測定 No.（緑字）、断面 No.（赤字）および箇所 No.（青字）を略図に明記してください。略図内の測定 No.（緑字）、断面 No.（赤字）および箇所 No.（青字）は、下表の測定データ入力との整合を図ってください。

以下、測定データ表は、前述の「②測定データ（橋梁上部・下部）」シートと同様の手順で入力してください。
5 入力例

以下の各シートの記入例を参考に、入力してください。

5-1  「①共通記入」シート

共通記入シート

凡例) 選択: 記入: 

〇 本調査票は、1工事毎に記入をお願いします。

<table>
<thead>
<tr>
<th>地方整備局等名</th>
<th>関東地方整備局</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>事務所名</td>
<td>○○国道事務所</td>
</tr>
<tr>
<td>工事名</td>
<td>○○橋工事</td>
</tr>
</tbody>
</table>

7
5-2 「②測定データ（橋梁上部・下部）」シート

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>項目</th>
<th>項目</th>
<th>項目</th>
<th>項目</th>
<th>項目</th>
<th>項目</th>
<th>項目</th>
<th>項目</th>
<th>項目</th>
<th>項目</th>
<th>項目</th>
<th>項目</th>
<th>項目</th>
<th>項目</th>
<th>項目</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>A</td>
<td>B</td>
<td>C</td>
<td>D</td>
<td>E</td>
<td>F</td>
<td>G</td>
<td>H</td>
<td>I</td>
<td>J</td>
<td>K</td>
<td>L</td>
<td>M</td>
<td>N</td>
<td>O</td>
<td>P</td>
</tr>
<tr>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
</tr>
<tr>
<td>A</td>
<td>B</td>
<td>C</td>
<td>D</td>
<td>E</td>
<td>F</td>
<td>G</td>
<td>H</td>
<td>I</td>
<td>J</td>
<td>K</td>
<td>L</td>
<td>M</td>
<td>N</td>
<td>O</td>
<td>P</td>
</tr>
<tr>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
</tr>
<tr>
<td>A</td>
<td>B</td>
<td>C</td>
<td>D</td>
<td>E</td>
<td>F</td>
<td>G</td>
<td>H</td>
<td>I</td>
<td>J</td>
<td>K</td>
<td>L</td>
<td>M</td>
<td>N</td>
<td>O</td>
<td>P</td>
</tr>
<tr>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
</tr>
<tr>
<td>A</td>
<td>B</td>
<td>C</td>
<td>D</td>
<td>E</td>
<td>F</td>
<td>G</td>
<td>H</td>
<td>I</td>
<td>J</td>
<td>K</td>
<td>L</td>
<td>M</td>
<td>N</td>
<td>O</td>
<td>P</td>
</tr>
<tr>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
<td>項目</td>
</tr>
</tbody>
</table>
5-3 「③測定データ（ボックスカルバート）」シート

![テーブルと図](image-url)